

日本学術会議の活動と運営に関するご連絡

2021年6月25日

日本学術会議幹事会

2021年6月24日、日本学術会議の活動と運営に関する記者会見を行いました。記者会見冒頭の梶田隆章会長の挨拶（下記のとおり）のほか、日本学術会議会長談話「新型コロナウイルス感染症とワクチン接種をめぐって」、科学的助言機能・「提言」等のあり方の見直しについて、委員会等連絡会議の設置について、我が国の学術の発展・研究力強化に関する検討委員会について、今後開催予定の公開シンポジウムについてご説明いたしました。

記者会見で配布した資料は、日本学術会議のホームページに掲載しております。

※第25期幹事会記者会見資料（6月24日）

<http://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/kanji/kisyakaiken.html>

なお、日本学術会議の在り方については、総合科学技術・イノベーション会議の下に「日本学術会議の在り方に関する政策討議」が開催され、議論が行われています。第1回（5月20日）の議事概要が公開されましたので、あわせてお知らせいたします。

（議事概要）

https://www8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/yusikisha/210520_1giji.pdf

（配布資料）

https://www8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/yusikisha/20210520_1.html

○記者会見冒頭の梶田隆章会長の挨拶

本日は、日本学術会議の記者会見にお集まりいただき、どうもありがとうございます。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う蔓延防止等重点措置期間中ですので、今回もオンラインでの記者会見とさせていただきます。

新型コロナウイルス感染症は、未だに私たちの社会にとって大きな脅威となっております。この間、新型コロナウイルスによって亡くなられた方々ならびにご家族の方々に心より哀悼の意を表します。いまま闘病中の方々、さらに感染症の影響で深刻な困難にさらされておられる多くの方々にも深くお見舞い申し上げます。このような中、日本学術会議は、学術フォーラムなどを通して新型コロナウイルス感染症に関係した学術的情報等を広く国民の皆様にお伝えし、そして一緒に議論してまいりましたが、現在新型コロナウイルスのワクチン接種が急速に拡大しておりますので、この機会に、日本学術会議会長談話「新型コロナウ

イルス感染症とワクチン接種をめぐって」を本日発出することとしましたので、紹介いたします。

さて、日本学術会議では4月の総会にて「日本学術会議のより良い役割発揮に向けて」の文書を取りまとめた。この文書において今後の学術会議の在り方の方向性をお示しましたが、今後はこの方針に沿って具体的な改革を進めていく必要があります。そこで本日の幹事会において「科学的助言機能の在り方」を議論しました。これは今後の具体的な改革のたたき台的なものです。本日の記者会見で私の方からお示いたします。

また、関連して、本日の幹事会において、学術会議内の部や委員会等の枠を超え、より広い視野に立った審議等を行うために「委員会等連絡会議」を設置することとしましたので、これについても私から報告いたします。そして、この仕組みの最初の例として、「カーボンニュートラル（ネットゼロ）に関する連絡会議」を本日設置しましたので、これについて高村副会長より説明いたします。

更に、本日の幹事会において課題別委員会として「我が国の学術の発展・研究力強化に関する検討委員会」を設置することとしました。このことについて菱田副会長より説明いたします。

本日は、今期第一回の選考委員会を開催しましたので、これについても私の方から簡単に報告させていただきます。

最後に、今後予定されている学術フォーラムや公開シンポジウムについて菱田副会長よりアナウンスいたします。

○幹事会資料（ご参考）

第313回幹事会（令和3年6月24日）資料

<http://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/kanji/siryos313.html>

第312回幹事会（令和3年5月27日）議事要旨

<http://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/kanji/pdf25/giji312.pdf>